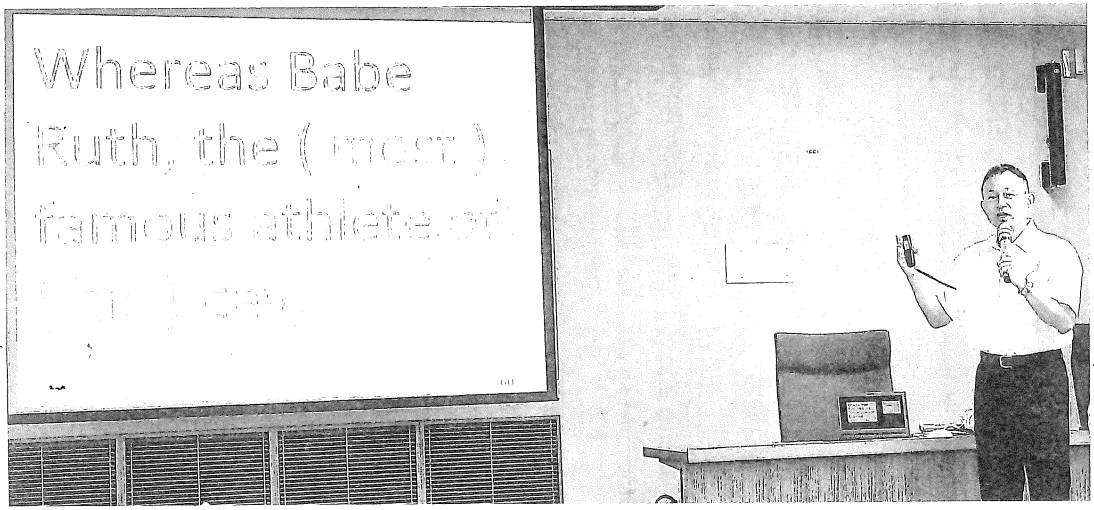
岐阜新聞 2018年9月20日

TOEICやセンター試験英語

得点予測できる 5分テスト開発

わずか５分ほどの英語テストで、大学入試センター試験の英語やＴＯＥＩＣなどの得点を予測－。岐阜大地域科学部の牧秀樹教授（言語学）が、短時間で行える英文の穴埋め式リスニングテスト「最小英語テスト（ＭＥＴ）」を独自に開発し、10月に成果をまとめた書籍を出版する。19日、同大で報道発表した牧教授は「さまざまな分野での活用が期待できる」と語った。　（舌間隆博）



ＭＥＴの設問例を示し説明する牧秀樹教授＝19日午前、岐阜市柳戸、岐阜大

岐阜大の牧教授 穴埋め式リスニング

ＭＥＴは「The Minimal English Test」の略で、英文を読み上げる音声を聞きながら空所（単語）を埋める単純なテスト。空所は基本的に6単語ごとに設けており、５分程度で約70カ所を回答する。

牧教授は２００２年から、ＭＥＴと、長時間行う他のテストの相関関係を調査。ＭＥＴに挑戦した1万人以上のデータを分析したところ、いずれもセンター試験やＴＯＥＩＣなどとの高い相関関係が確認された。

入社試験などでの活用が見込まれており、既に関心を示した県内の大手企業に問題を提供したという。今後は、相関関係が高い要因の研究や、さらに相関関係が高いＭＥＴの開発などに取り組む。

書籍は、日本学術振興会の科学研究費助成事業の補助を得て出版する。問題英文と、対応する読み上げＣＤも付録する。書籍名は「The Minimal English Test研究」（開拓社）。税抜き３８００円で10月23日刊行。